



医師不足地域を支える医師



富士市立中央病院
循環器内科副部長
富永 光敏 先生

私の勤める病院は県内でも医師不足が問題となっている静岡県東部地域にあります。市内の基幹病院として救急患者の受け入れ数も多く、専門科の特性もあって夜間に緊急で呼び出されることもあります。忙しく働けていることはやりがいを感じることであり、充実した日々を過ごせています。公立病院勤務であることから、他病院への外勤や当直をしなくても良いためプライベートな時間も多く、大学病院で働いていた時よりも家族と過ごせる時間も長くなったと思います。もちろん大学病院や高度な専門性を持った病院に比べ、提供できる医療には限界があります。しかし各科の専門医取得に必要な症例は十分に診ることが出来ますし、学会への参加・発表も可能で援助もあります。医学生や若い先生方が高い理想をもつことは非常に大事なことで、いつまでも持ち続けてもらいたいと思います。医師としてどのようなスタートを切るか、どのような環境に身を置くかはその後の医師人生を左右する大事な時期だと思います。社会人として最初の大きな決断になるかもしれません。私からの助言としては決して周りの人間に惑わされることなく、5年後、10年後の自分を想像し悔いのない選択をしていただければと思います。